

第3回 電力データ活用の在り方検討会

認定協会設立準備WG（仮称）の 目的と進め方について（案）

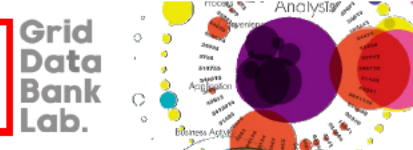
2021年8月31日

グリッドデータバンク・ラボ有限責任事業組合



準備WGのスケジュール（来年4月スタート想定・案）

2021.7.29検討会
資料再掲



データ利用を検討されている各社においては、個データまたは統計データをどのように、どの程度の量を使いたいのか、できるだけ具体的な検討を進めていただき、その内容を本検討会にて集約して、認定協会のシステムや体制、必要コストなどの算定諸元とする必要がある。

また、利用料金をどう設定するか、基金拠出者のインセンティブをどうするか、といったテーマについても検討し、収支の見通しを整理したうえで、最終的にはデータ利用者における協会参画の是非（基金拠出の是非を含む）をご判断いただく流れになるものと想定。

仮に、法施行される4月に認定申請を行うとなれば、契約や出資にかかる調整期間を考慮すると、遅くとも年内には協会の事業性評価と基金拠出予定者の関心表明が揃う必要あり、かなりタイトなスケジュールとなる見通し。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
国	検討会								
TSO	システム基本設計		システム開発 ~23.4						
データ利用者	意向調査	事業性検討	連携		事業性評価 関心表明	契約・出資 検討		協会設立	認定申請
		認定協会設立準備WG ~22.3						システム開発 ~23.4	

本資料のスコープ

認定協会設立に向けた諸課題の整理/検討体制（案）

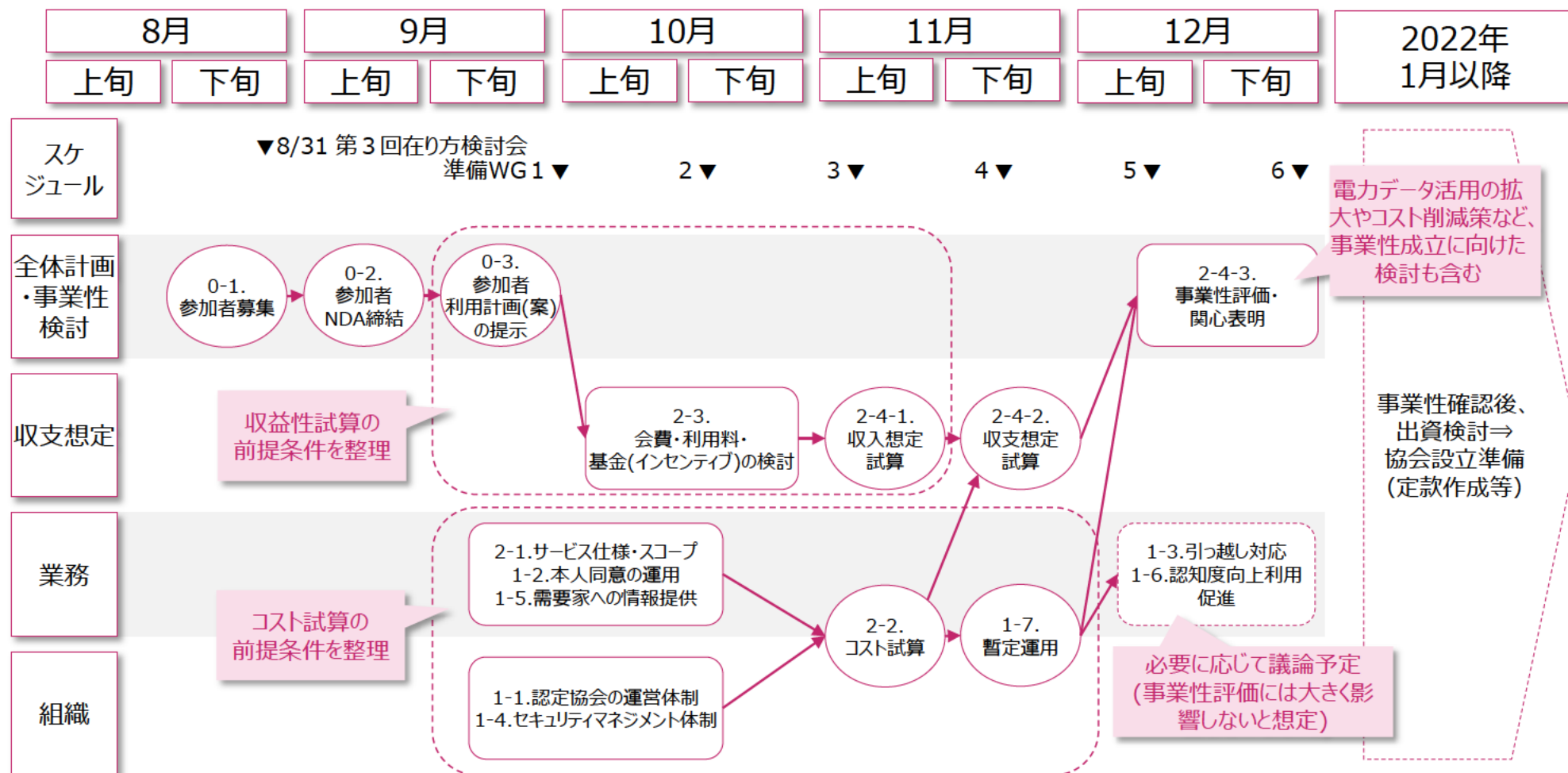
2021.6.30検討会
資料再掲



検討体制 【事務局】	電力データ活用の在り方検討会 【資源エネルギー庁】	認定協会設立準備WG（仮称） 【案・GDBL】	電力データ活用検討 委員会【GDBL】
役 割	- データ利用者主体による認定協会の設立検討を進めていくにあたり、必要となる前提条件の整理 - 資料/議事概要は公開	- データ利用者（有志）による認定協会の設立検討 - 資料/議事は非公開、ただし検討結果（概要）は電力データ活用検討委員会で審議	外部有識者を招聘し方向性の整理 - 資料/議事概要は公開
時 期	2021.6- 8	2021.8-2022.3（想定）	2021.9-（想定）
おもな 検討課題	1.認定協会の位置づけ/制度概要 ① 電事法の整理、事業スコープ、収支構造 ② 認定要件 2.TSO提供データの仕様・条件 ① 電力データの種類（個人/統計） ② 電力データの提供方法 ③ システムによるデータ提供スケジュール（全国・エリア毎） ④ データ連携・照合方法 ⑤ 協会へのデータ提供価格・条件 ⑥ システム整備までの暫定運用 3.データ利用者の意向確認 ① 上記を踏まえたデータ利用意向/費用負担意向の確認 ② 意向確認結果を踏まえた追加的に検討すべき前提条件	1.協会運営の検討 ① 認定協会の運営体制（組織・体制・業務委託・役割分担） ② 本人同意の取得（直接、間接）に関する具体的な運用 ③ 引越し対応/複数地点の紐づけ管理の是非or運用 ④ セキュリティマネジメント/第三者委員会によるチェック体制の整備 ⑤ 需要家への情報提供の在り方 ⑥ 認知度向上・利活用促進 ⑦ 暫定運用 2.収支/出資検討 ① 認定協会のシステム/サービス仕様の検討 ② コスト試算（システム/人件費/諸経費/委託費/TSOへの利用料） ③ 利用者の費用負担意向の確認⇒基金/会費・会員への利用料の検討 ④ 収支想定⇒出資検討	- 左記の検討がある程度進展した時点で、その検討概要/方向性について審議 - 認定協会設立後は当該委員会が認定協会の第三者委員会に移行する想定

認定協会設立準備WGの進め方（案）

当面の目標として、本検討で事業性が成立する事業設計を目指し、2021年12月を目途に、認定協会の事業性評価と参加者の関心表明に向けた検討を進めることとしてはどうか。



認定協会設立準備WGへの参加方法（案）



参加希望者より、下記の参加要項の遵守を前提として、WG参加の意思表示にかかる書面を事務局（グリッドデータバンク・ラボ有限責任事業組合）に提出いただくこととしてはどうか。

【参加要項 骨子】

1 認定協会設立準備WGは、**電力データの有償利用意向を有する参加者**と事務局が共同して実施

（運営の考え方）

- ・ 事業性検討が主目的であるため、具体の利用計画・販売計画を有し、費用負担の意思のある方に参加いただきたい
- ・ 利用計画は極めて機微な情報と認識しており、具体の計画を有する参加者を限定（参加者の同意があれば、必要に応じ専門家等の招聘は可能）
- ・ 参加者以外の方に向けては、別途、情報共有や意見照会の場を設けることを想定（例：電力データ活用検討委員会）
- ・ エネ庁は政策担当部署としてオブザーバー参加いただく
- ・ 送配電網協議会は必要に応じ参加いただく（例：システム検討、暫定対応の協議 等）

2 認定協会が公平・透明な共通プラットフォームとなることを理解し、相互に他の参加者を尊重する

3 秘密情報の目的外利用の禁止、開示者の事前の承諾なく第三者に開示してはならない

4 脱退は任意とし、その場合は書面により事務局に連絡（守秘義務は脱退後も継続）

全ての検討をGDBLの知見・リソースで賄うことは困難と想定しております。特定のパートのみ参加でも結構ですので、利用計画（案）の提示だけでなく、具体的な検討作業への参加についても前向きにご検討をお願いいたします。

作業に参加いただくことで、自社で想定されている利用方法に見合った仕組みの検討も可能と考えます。

なお、事務局が現時点で参加者との相談が重要と想定している点は、以下のような課題となります。

検討項目		参加者との相談が重要と想定している課題
①運営体制、セキュリティマネジメント体制	1-1,1-4 ⇒2-2	・ 損賠対応（保険等）
②サービス仕様・スコープ、本人同意、需要家への情報提供	1-2,2-1,1-5 ⇒2-2	・ データ利用者による本人同意の取得フローや認定協会との連携方法 ・ 本人確認方法（EKYC、またはデータ利用者による本人確認の承認条件 等）
③会費・利用料・基金	2-3 ⇒2-4-1	・ 必要な基金の想定 ・ 費用負担の在り方 ・ 他のデータ利用料の水準も加味した料金設定の在り方
④収支想定、事業性検討	2-2+2-4-1 ⇒2-4-2、2-4-3	・ 一般社団法人の経営 ・ 電力データ活用を拡大していくための方策

参加者から受領する利用計画（案）

準備WGの中で収入想定を試算していくにあたり、有償で利用意向のある参加者のみなさまより、本格対応後5年間の利用計画をお伺いしたいと考えております。あくまで認定協会の初期5年間の事業規模を想定していくにあたっての参考値としての活用を目的としておりますので、開示可能な範囲での目標感をお示しいただけますと幸いです。本情報はNDAを締結した準備WG参加者間で共有する情報となります。何卒、ご協力をよろしくお願いいたします。

	← 暫定対応期間		← 本格対応後5年間			
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027
個データ	同意取得想定 アカウント数	同意取得想定 アカウント数	<提示いただきたい内容*> - 同意取得目的/サービス内容（開示可能な範囲で） - 本格対応後5年間で目指している同意取得数（需要家数単位） - FY22～27の同意取得計画推移（開示可能な範囲で） - データ利用頻度（定期（月次・日次・リアルタイム） or 随時（年N回））			
統計データ	利用想定 統計データ数	利用想定 統計データ数				
			<提示いただきたい内容*> - 利用目的/サービス内容（開示可能な範囲で） - 本格対応後5年間で利用予定である統計データエリア数 - FY22～27の利用計画推移（開示可能な範囲で） - データ利用頻度（定期（月次・日次・リアルタイム） or 随時（年N回）） - 利用想定データの粒度（メッシュ、または住所）			

【参考】
標準仕様項目および統計データ仕様（検討中・案）

Grid
Data
Bank
Lab.

電力データ（個人データ）の標準仕様項目（ドラフト案）

第4回電力データ活用
検討委員会資料抜粋



- 標準仕様項目（ドラフト案）で定める提供項目は、オプトイン許諾済みの個人（利用者）に紐づく「電力量」と「属性項目」とし、その内容は次のとおりとします。

電力量	属性項目		属性項目（続き）	
使用電力量	契約情報 ※1	本人情報	その他情報	位置情報 ※2
受電電力量		所在地住所		通電分類
	建物情報 (種別/規模/ 用途)	電圧分類	異動日情報	供給側再新日
		用途（業務用/産業用）		供給側廃止日
		電気方式分類		供給側新設日
		託送契約有無		供給側全撤日
		契約電力		受電側開始日
		建物分類		受給側廃止日
	発電設備情報 (件数/規模)	受給契約有無		発電設備設置日
		発電設備有無		発電設備撤去日
		契約受電電力		
		発電設備容量		

※1：契約者と利用者が異なる場合の扱いについては要検討。

※2：スマートメータの位置情報が望ましい。代用として電柱位置情報を想定。

電力データ（個人データ）の標準仕様項目（ドラフト案）

第4回電力データ活用
検討委員会資料抜粋

Grid
Data
Bank
Lab.



- 標準仕様項目（ドラフト案）で定める「電力量」の、提供単位、提供時間単位、提供リードタイムおよび提供値は次のとおりとします。

提供単位	提供時間単位	提供リードタイム	速報値/確定値
許諾済みの個人（利用者）	30分	リアルタイム（数時間後） 2ヶ月後	速報値 確定値

- 標準仕様項目（ドラフト案）で定める「属性項目」の提供単位、提供リードタイム、提供項目は次のとおりとします。
- なお、「電力量」と「属性項目」を合わせて提供するか、別で提供するかは、データ転送量やシステムコスト、ひいては利用料への影響も踏まえて検討する必要があると考えています。

提供単位	提供リードタイム	提供項目
許諾済みの個人（利用者）	翌月 ※3	契約情報 建物情報 発電設備情報 その他情報 異動日情報

※3 契約廃止に伴い提供を停止する場合など、翌月を待たずに連携が必要となる可能性も想定される。

託送業務のために作成される統計データ（検討中・案）①



託送業務のために作成される統計データについては、現在、資源エネルギー庁とTSO10社の間で検討中であり、未確定であるが、認定協会の検討にかかる参考情報として資源エネルギー庁より提供を受けた案は以下のとおり。

なお、実際に作成される統計の種類や、一般のデータ利用者に提供される範囲については、今年度中を目途として行われるシステム設計の検討後に確定する見込み。

(1) リアルタイム値（30分毎の集計表）

電圧分類	集計表	集計値	提供エリア	属性項目	データ作成 周期
低圧	順潮流	使用電力量	・住所 ※ （市区町村） ・メッシュ （500m）	—	① 定期 リアルタイム （30分毎）
	通電計器数	計器数		通電分類（通電／その他） 託送契約ありのみ	
高圧・特高	順潮流	使用電力量	・住所 ※ （市区町村） ・メッシュ （10km）	用途別分類（業務用／産業用）	

託送業務のために作成される統計データ（検討中・案）②



(2) 日次値、月次値（日毎、月毎の集計表）

電圧分類	集計表	集計値	提供エリア	属性項目	データ作成周期
低圧	順潮流	契約電力 使用電力量	・住所 （市区町村） ・メッシュ （1km、500m、 250m、125m）	契約電力分類（3kw、10kw 等）	①定期 （日次値は日次で作成 月次値は月次で作成） ②随時 （過去データを使った定型データ を随時で作成）
	逆潮流	契約受電電力 発電設備出力 受電電力量		—	
	計器数分析	計器数（順潮流／逆 潮流）		建物分類（戸建／集合 等） 供給電気方式分類 契約電力/発電設備出力分類 使用電力量/受電電力量分類 託送契約継続期間分類 新設後経過年数分類	
	通電計器数	計器数		通電分類（通電／その他）	
特高・高圧	順潮流	契約電力 使用電力量	・住所 （市区町村） ・メッシュ （特高10km・高圧 5km）	用途別分類（業務用、産業用）	※生データの保存期間は3年 程度
	逆潮流	契約受電電力 発電設備出力 受電電力量		—	
	計器数分析	計器数（順潮流／逆 逆潮流）		用途別分類（順のみ） 契約電力/発電設備出力分類 新設後経過年数分類	

**Bank
Lab.**

Statistics
Process
Convenience
Analysis

04962
543190
90337
06572
3257148
24630
026074
24635
5760
519756

063006
2664
00620
6064
42056
86